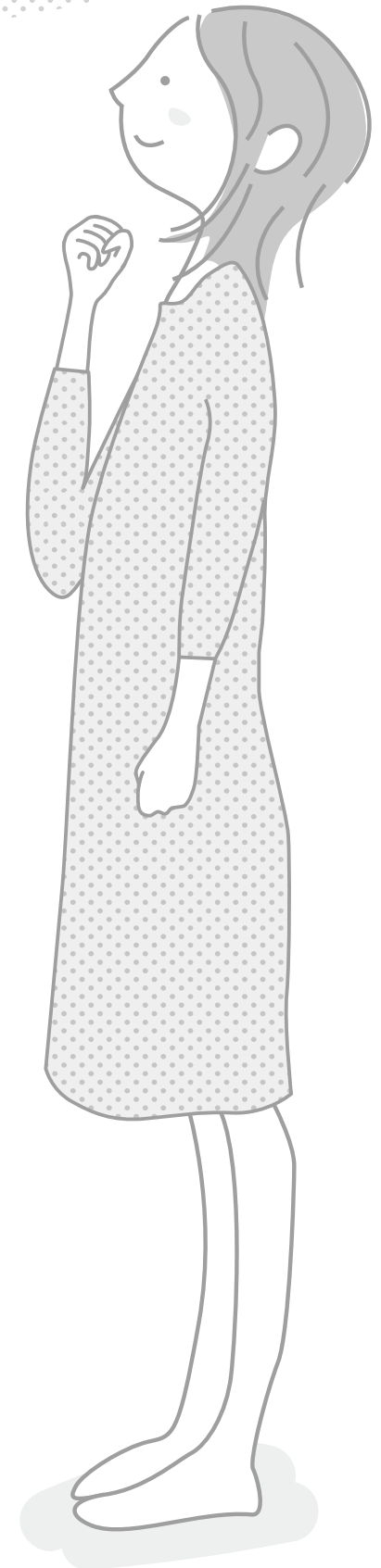


# 予防しよう!! 子宮頸がん

～正しい知識と行動が、子宮頸がんからあなたを守る～



子宮頸がんとは、子宮の入り口にできるがんで、女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。近年、20～40歳代の女性において発病や死亡が増えています。そこで今号では、子宮頸がんを予防するためのワクチンの接種や、検診の受診についてお知らせします。

## 原因はヒトパピローマウイルス(HPV)

子宮頸がんの原因のほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるものです。HPVは、80%の女性が生涯のうちに一度は感染するといわれているウイルスですが、免疫力によって自然に治る人がほとんどです。しかし、約10%の人は感染し続けることによって「前がん病変」(がんになりやすい

状態のこと)になり、その一部ががんへ進行します。

## ワクチンの接種と検診を受けることで予防が可能

子宮頸がんは、ワクチンの接種と検診の受診で予防が可能です。ワクチンの接種は、多種類あるHPVの中で、子宮頸がんの原因の70%を占める16、18型の感染を防ぎま

す。接種は、6カ月の間に3回行います。

●子宮頸がん検診：問診・内診・細胞診(子宮の入口の表面細胞を綿棒でこすりとり、顕微鏡で調べる)を行います。前がん病変やごく初期のがんも発見することができ、早期の発見であれば範囲も小さく簡単な手術で済むことから、手術後の妊娠や分娩も可能です。

若いうちにワクチンの接種を、そして20歳を過ぎたら定期的に検診を受診しましょう

ワクチンは、若いうちに接種しましょう。特に、中学1年生から高校1年生に相当する女性が行うワクチンの接種

は、国の助成制度により個人負担金が接種費用の1割(1,600円)に軽減されます。

また、子宮頸がん検診については、市の平成23年度における子宮頸がん検診の受診者数が、対象者数約2万5,000人に対して約6,000人であり、受診率は約25%にとどまっている状況です。子宮頸がんはかなり進行しないと自覚症状が現れません。20歳を過ぎたら、定期的に検診を受診しましょう。



## 子宮頸がんのワクチン接種と検診のご案内

### 子宮頸がんワクチン接種

- 実施期間＝平成25年3月31日まで。
- 対象＝中学1年生～高校1年生に相当(平成8年4月2日から同12年4月1日生まれ)する女性で、ワクチンの接種を希望する人。
- ※ただし、平成24年3月31日までに接種を開始した高校2年生に相当(同7年4月2日～同8年4月1日生まれ)する年齢の人は、今年度に限り助成対象となります。
- 接種回数＝6カ月の間に3回。
- 個人負担金＝1回につき1,600円。
- 申込方法＝「平成24年度天草市健康のしおり」でお知らせしている指定医療機関へ、事前に電話で予約してください。
- 持参品＝母子健康手帳、個人負担金(予診票は指定医療機関で配布)。

### 子宮頸がん検診〈施設単独検診〉

- 対象＝市内に住所があり、平成25年3月31日までに20歳以上になる女性(ただし、地域健診や施設健診、人間ドックで子宮頸がん検診を受診した人、または受診予定の人は除きます)。
- 期間＝9月3日(月)から平成25年2月28日(日)まで。
- 個人負担金＝別表1のとおり。
- 受診方法＝指定医療機関(別表2)に電話で、「天草市の子宮頸がん検診」として予約して受診してください。
- ※牛深市民病院の検診日は、毎週月・水曜日の午後1時からです。

#### ◆個人負担金 (別表1)

| 69歳以下で国保以外の人 | 70歳以上の人・国保加入者 |
|--------------|---------------|
| 1,800円       | 600円          |

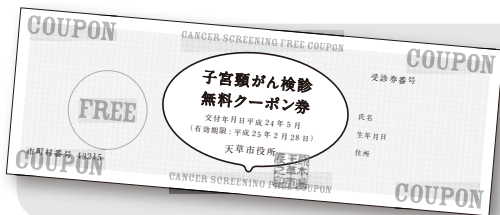
※国保とは天草市国民健康保険のことです(保険証を必ず持参してください)。  
※生活保護世帯の人は無料です(証明書を持参してください)。

#### ◆指定医療機関 (別表2)

| 医療機関名    | 電話番号   |
|----------|--------|
| 本原クリニック  | ☎1175  |
| 鬼塚クリニック  | ☎3636  |
| 天草中央総合病院 | ☎20011 |
| 牛深市民病院   | ☎34171 |

### 無料検診クーポン券のご利用を!

子宮頸がん検診が無料で受診できるクーポン券を、5月ごろに該当する市民の皆さんへ送付しています。ぜひ、ご利用ください。



【問い合わせ先】天草中央保健福祉センター ☎240620 天草東保健福祉センター ☎663355  
天草西保健福祉センター ☎753301